

令和4年度第2回指定管理者審査委員会 議事録（要旨）

日 時 令和4年10月18日（火） 午後1時30分～午後4時30分
 場 所 日進市立図書館2階 大会議室
 出席委員 亀倉正彦、村上康司、平家勉、上田信子、黒田雅也（敬称略）
 欠席委員 なし
 事務局 萩野一志（総合政策部長）、岩瀬雅哉（同部調整監）、小出誠二（同部次長兼企画政策課長）、白木誠（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、石川達也（同課同係主査）
 説明の為に出席した者 加藤誠（学習教育部長）、與語隆弘（同部次長兼生涯学習課長）、小出佐和子（同課課長補佐）
 傍聴の可否 不可（日進市情報公開条例第7条第6号に該当する事項を審議するため。）
 議 題 (1) 岩崎城歴史記念館、日進市展望塔岩崎城、岩崎城址公園、日進市旧市川家住宅の候補者の審査（第2次審査）について

発 言 者	内 容
事務局	1 開会
	2 あいさつ
事務局	それでは、進行を委員長にお願いします。
委員長	会議の非公開の可否について諮る。
委員	（異議なし）
	3 議題 (1) 岩崎城歴史記念館、日進市展望塔岩崎城、岩崎城址公園、日進市旧市川家住宅の候補者の審査（第2次審査）について
アクティオ株式会社	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：収支予算書の人件費は常勤5名、非常勤5名となっている。仕様書では責任者または副責任者1名以上、従事員それぞれ1名以上となっているが、提案書の23、24ページの人員体制では、常勤職員は4名、非常勤は6名となっている。この整合性はどうか。 回答：旧市川家住宅の職員①は常勤の間違いなので訂正する。そうすると予算書どおりになる。 質問：責任者を岩崎城に配置して、副責任者は岩崎城と旧市川家住宅の両方に配置して、旧市川家住宅には職員1名とスタッフを配置するということか。 回答：そのとおり。 質問：責任者は旧市川家住宅も関与するのか。 回答：そのとおり。企画面では当初は責任者が中心に行い、後には副責任者にも行わせたい。

発 言 者	内 容
	<p>質問：旧市川家住宅の副責任者は学芸員資格保有とあるが新たに募集するのか。</p> <p>回答：そのとおり。</p> <p>質問：今後5年間の来館者の数値目標はあるか。</p> <p>回答：コロナの影響が無いものとして、岩崎城は、令和5年度は大河ドラマ等の影響も見込んで4万人を目標としている。以降は3万8,9千人としている。旧市川家住宅は、令和元年度3千9百人ほどであったので1割ずつ増加させていきたい。</p> <p>質問：地域との連携でのアプローチの工夫はどうか。</p> <p>回答：事業は地域との連携無くしては実施できないので、その教訓を得ながら実施することが次の事業につながると考える。また事例にもあるように市外の方も含めて地域との連携を深めている。つながりを作るという意味では小牧・長久手の戦い同盟や来館者の生の声を聴くこともアプローチの一つと考える。また岩崎城のホームページで出前講座を告知しているので、部活動や市内外の地域の方々と接していくことになる。</p> <p>質問：旧市川家住宅でイベント以外での滞在時間を長くする方法は考えているか。</p> <p>回答：旧市川家住宅で来場者が一番多い時期はひな人形の時期であるので、市内で所蔵している物があれば展示して説明を加えることによって長く滞在していただけたらと思う。</p> <p>質問：意見だが、お手玉など、おばあちゃんと子どもが連携するような企画も良いと思う。</p> <p>質問：他の事業者と比べて、御社が最も優れていると考えているところは何か。</p> <p>回答：弊社は140施設の指定管理をしているがその中でも岩崎城は2番目に古くプライドを持って取り組んでいる。指定管理を多くしたことで、法令順守などのベースとなる部分と、広報や事業の部分のバランスを取って実施してきた。事業も年間数万件あるのでそれを本社で集約して横展開できる。また館長会を行って情報交換ができています。私は岩崎城の指定管理に最初から関わっており、様々な展示等で知識の蓄積もあり他の職員もスペシャリストがそろっていて他社には負けないと思う。</p> <p>質問：第37期事業計画書の中に、複数の施設で継続受注に至らなかったという記載があるがその理由は何か。また、それをどのように分析し本市の事業継続にどのように活かせると考えているのか。</p> <p>回答：他の民間事業者が受注したのではなく、その市の考え方によって、地域のNPOや利用者協議会などに任せることになったことや、建物に民間デベロッパーが入っていて、その一部が公共施設としていたが、そのデベロッパーが指定管理になったことなどが理由である。ただし、反省すべき点はあったと考え会社として反省し展開していくこととしている。</p> <p>質問：計算書類の販売費および一般管理費の明細に役員報酬が無いが何故か。また経営指導料は外部のコンサルタントに支払っているものか。</p> <p>回答：財務担当が出席していないので詳細は分からない。</p>

発 言 者	内 容
	<p>質問：この施設の管理に関して、SDGS のどこに向けて取り組んでいくのか。</p> <p>回答：文化施設でもあるので教育分野、広く様々な方に受けていただくことである。</p> <p>質問：収支内訳書の本社管理費、募集費他のうち本社管理費はどれだけか。</p> <p>回答：募集費を除いた額である。本社経費には現場社員の健康診断や銀行振込手数料などの雑費も含んでいる。一般管理費は間接経費であり、本社社員のバックアップ体制である。</p> <p>質問：岩崎城と旧市川家住宅の来館者を増やす上で課題はあるか。</p> <p>回答：岩崎城では小牧・長久手の戦い同盟を含め、各市町との連携イベントを予定しており、来年度再来年度は、小牧・長久手の戦いをメインとして考えている。課題は駐車場問題だと考えている。</p> <p>質問：本年度、市でプロジェクトマップが予定されているが、ここから何を得て、次にどう発展させていくのか考えていることはあるか。</p> <p>回答：夜間の開館について、今までは危険性や周囲の住宅に配慮して消極的であったが、本年度試行的に実施し、来館者層や夜間の危険個所などの確認をしている。イベントとしてであれば夜間開放することや、花火大会を天守の上から観ることなどを考えている。</p> <p>質問：令和6年度市制30周年、ジブリパーク、どうする家康などの大きな機会を活かした、新しい顧客層を開拓する取り組みは考えているか。</p> <p>回答：ジブリパークと岩崎城の客層は必ずしも一致しないが、現在岩崎城で剣術体験をしていて子どもさんを中心にリピーターが多いので、ジブリパークを検索したときにハッシュタグを付けるなどで岩崎城の剣術体験がPRでき、ジブリパークの来場者が岩崎城にも来場できるのではないかと考えている。</p> <p>質問：意見だが、子どもを対象に新しい取り組みをするのであれば、市の施設であるので、市内の小学校と連携し、歴史教育やシビックプライド醸成などについて事業をしながら完成度を高めてほしい。また、観光面では市外へも視点を移す必要があり、例えば各学校の文化祭では歴史部の活動が面白いと感じたので、そうした部分をうまく取り込めば、すそ野が拡大すると思う。</p>
申請者②	(事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答)
	<p>(主な質疑応答)</p> <p>質問：現在の指定管理者と比べて、御社が決定的に勝っている部分は何か。</p> <p>回答：本事業体が勝っている点は、3つの強みでお伝えした通り、考古学の専門性を持っており、古民家の活用に見識を持つ者が館長候補となること、施設管理の経験があること、イベントの運営に特化した会社が参加していることの3つである。</p> <p>質問：各会社の特徴は分かったが、共同事業体としての取り組みの実績はあるか。</p> <p>回答：今回は初めてである。</p> <p>質問：提案書では、共同事業体としての意思決定の構造が読み取れないがどうなるのか。</p>

発 言 者	内 容
	<p>回答：様式 15 のように館長候補がすべての中心になるが、館長が中心となって 5 年間のマイルストーン、年間計画を作り、それぞれの工程、案件ごとにチームを作り人材を集めて館長、副館長などの専従職員をサポートすることになる。</p> <p>質問：共同事業体の代表者は役員として意思決定の中心となるのか。</p> <p>回答：そのとおり。</p> <p>質問：事業体として岩崎城と旧市川家住宅の魅力はどう考え、日進市の他の文化財などを含めてどのように市内外へ発信していくのか。</p> <p>回答：岩崎城と旧市川家住宅を中心として、例えば、神社、窯跡、古墳などを合わせた街巡りツアーや古地図を活用したウォーキングコースを作るなどしたい。また、市外の文化財との関わりとして、活用されている城、小牧山城、岡崎城、新城城などと強く連携していきたい。</p> <p>質問：体制図では、岩崎城歴史記念館に館長、副館長、運営従事者、旧市川家住宅に運営従事者と記載してあるが、館長と副館長は旧市川家住宅にも関与するのか。</p> <p>回答：そのとおり。</p> <p>質問：運営従事者はそれぞれに常勤職員 1 名配置し、館長、副館長は記念館に配置だが両方をみるということ、維持管理は事業体構成企業がバックアップするということが良いか。</p> <p>回答：そのとおり。</p> <p>質問：収支予算書には非常勤職員 2 名と記載してあるがどうか。</p> <p>回答：非常勤職員とあるのは、正社員ではない契約社員ということである。</p> <p>質問：仕様書にある維持管理業務はほぼすべてが委託料に含まれるのか。</p> <p>回答：委託料には、機械警備、空調設備点検、消防設備点検、造園維持管理、産廃処分費、清掃などの仕様書の業務が含まれている。業務によっては協力会社やグループ会社と連携する。</p> <p>質問：イベント以外で、来場者の滞在時間を長くする工夫はあるか。また、提案書に旧市川家住宅でのコミュニティづくりとあるが、文化財の保存など以外で考えていることはあるか。</p> <p>回答：常時来ていただいても楽しめるプログラム、例えば戦国時代の道具を使ってみるなど簡単にいつでも対応できるものを用意するなど、間口を広げていきたい。旧市川家住宅では、例えば、古文書を読み解く、古いふすまを使って文書を取り出す、ふすまや障子を持ち寄って地域の方を講師に招いて張り替え作業を行うなど、子どもたちも喜び継続できることを行いたい。</p> <p>質問：3 団体で事業体を作っているが、費用、経費の配分はどうなるのか。</p> <p>回答：3 社で案分という考え方はない。</p> <p>質問：3 社のうちの構成団体 2 社目は、外部的に見えるがどうか。</p> <p>回答：構成団体 2 社目が使う経費は主に広告宣伝費を担当することになる。その他に自主事業経費を使うことになる。</p>

発 言 者	内 容
	<p>質問：構成団体 2 社目の従業員数は比較的多いが決算書を見ると規模が小さいと思われる。また累積赤字の状態なので継続に不安を感じるがどうか。</p> <p>回答：グループでバックアップしていくこととしている。規模が小さいという点は、事業実施の方法が地域コミュニティと連携をとることに特徴がある。また、協賛企業を募ってコストをかけずにコンパクトに地域イベントを実施しているためであり、そういう点で今回連携することとした。大きな会社と組むと費用が増えてしまうことになる。</p> <p>質問：他方、代表団体は役員報酬が給与手当よりも多い。先ほどの構成団体 2 社目とはかなり性質が違うが、事業体としてうまく一緒にやれるのか。</p> <p>回答：構成団体 1 社目が、構成団体 2 社目と連携を取る形になる。</p> <p>質問：代表団体と構成団体 1 社目は、多くの役員が重複していて同じ人が経営しているような会社だと思うがどうか。</p> <p>回答：事業体としては、親会社は完全な建設業でありその一部として遺跡調査部門がある。構成団体 1 社目は人材会社として採用部分を中心にしながら、施設の運営管理に取り組んでいる。</p> <p>質問：SDGS について言及がなかったが何か意図はあるのか。</p> <p>回答：SDGS 的なイメージかもしれないが、例えば、史料の保存法はお金をかければどれだけでもできるが予算には限りがある。専用の薬品を使えば耐久性はあるが、薬局で買えるものでもほぼ同じ製品があり継続的に安くできるので、現在の収蔵品も継続的に守っていけるといような部分がある。</p> <p>質問：遺跡発掘に力が入っていると感じたが、日進市でなぜ遺跡発掘なのか。</p> <p>回答：日進市には、窯跡や城跡、あまり知られていない住宅跡もたくさんある。知らないことを解消し活かして知っていただくことで、日進市の魅力を引き出したい。また、代表団体と構成団体 1 社目は近隣に所在しているので、近いところで地域貢献したいと考えた。</p> <p>質問：今回提案のキーパーソンは館長候補者であると考えている。現在他で常勤で勤務しているようだがどうなのか。</p> <p>回答：現在の勤務は 5 年の任期で、本年度で終了する。</p> <p>質問：なぜ本日は出席されていないのか。</p> <p>回答：本日は他の採用試験のため出席していない。そちらが採用となれば本件での館長はできなくなる。ただし、歴史を中心とした街づくりが専門であるので、アドバイザーとして関わってもらおう。また館長候補としては、同じようなキャリアを持った次の候補者も用意している。</p> <p>質問：自主事業でまあまあの額を見込んでいるが、各社の定款を見ると実施できないと思われる事業もある。実績を踏まえたものなのか。</p> <p>回答：記載した内容は、構成団体 2 社目の類似実績のあるものを記載してあるので実現可能である。1 年ですべてを行うのではなく、5 年間で予算を配分し、実績を積みながら集客を増やしながら実施していく。</p>
4	答申

発 言 者	内 容
	(閉会 午後 4 時 30 分)